第4期桑名市障害者計画・第6期桑名市障害福祉計画・第2期桑名市障害福祉計画(案)に係るパブリックコメント実施結果

ご意見	市の考え方
就労継続支援B型の場合、工賃アップの取り組みについても計画で触れて欲しい、また、その支援策についても桑名市独自の施策を謳って欲しい。	工賃アップの取り組みにつきましては、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長から各都道府県知事宛の通知文書「工賃向上計画を推進するための基本的な指針、及び 三重県による「工賃向上計画」に基づき、桑名市としての取り組みを継続してまいり ます。
成年後見制度に関しては、普及や啓発する際、制度の概要やメリット面ばかりでなく、デメリットと考えられる側面についてもしっかり説明し、桑名市としての考えや支援の要素を加えて欲しい。	第4期桑名市障害者計画では、P64以降に記載のとおり権利擁護を推進するための取り組みとして、成年後見制度の利用促進を支援することとしております。アンケート調査では、制度について「わからない」との回答が多いことから、一層の制度説明や周知が必要であると考えております。また、将来的に利用したいとの回答も多いことから、引き続き普及、啓発を行ってまいります。こうした際には、費用負担や財産管理なども含めた包括的な説明に努めてまいります。
	ご指摘のとおり、地域移行は障害福祉政策の方向性を示す大切なものであり、一方で施設利用者の生活の質の向上も重要であると考えております。取り組みの一環として、第4期桑名市障害者計画のP48において、福祉施設のイベントにおける交流促進を図ることとしており、またP68では文化芸術活動・スポーツ等の振興に取り組むこととしております。こうした計画を進めることが、いわゆる施設の社会化や地域交流を促し、生活の質の向上につながるものと認識しております。施設の社会化や地域交流につきましては様々な方法があり、施設や障害の特性に応じた柔軟な関わり方が求められますことから、個別具体的な方策や数値目標の設定は難しいと考えます。
	第6期桑名市障害福祉計画・第2期桑名市障害児福祉計画 P 9 5 ~ 9 6 に記載のとおり、グループホームのニーズは高く、サービス提供事業者と連携した設置の促進が必要な状況です。現在、桑名市では公共施設等総合管理計画を推進する中で公共施設の統廃合や削減に取り組んでおり、使用されなくなった施設の利活用が課題となっております。そうした中、ご指摘いただきました福祉施設への転用は、課題解決の有効な手段と考えておりますことから、事業者等への働きかけを継続してまいります。